

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 2月17日(金曜)午後3時現在

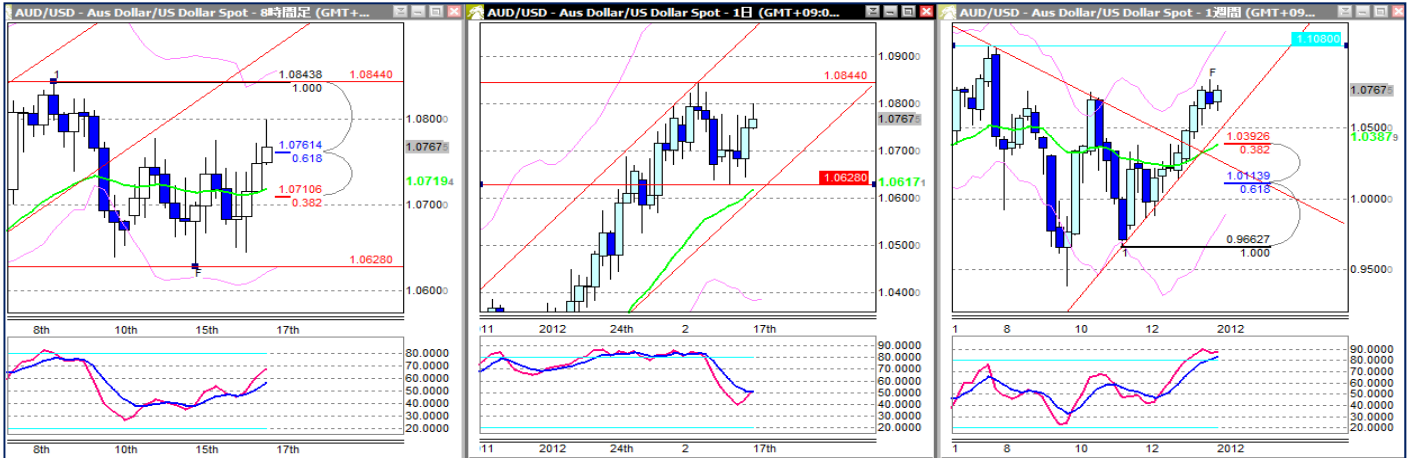
1. AUDUSD 来週の予想レンジ 中期予想レンジ

1. ギリシャ第2次支援の影響を強く受ける
2. 大枠 1.06230~1.0850 のレンジが続き、抜け出した方向に加速する可能性が高い
3. AUD はクロスで実需筋の買いが強く、AUDUSD をサポートしている

AUDUSD・8時間チャート

AUDUSD・Daily チャート

AUDUSD・Weekly チャート



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレータ・ ブレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
AUDUSD・8時間チャート	1.0719	1.0851	1.0622	67.22	57.18	↑	1.0711	1.0628	1.0844	1.0851
AUDUSD・Dailyチャート	1.0610	1.1104	1.0385	51.30	51.29	↑	1.0628	1.0610	1.0844	1.1104
AUDUSD・Weeklyチャート	1.0388	1.1095	0.9797	88.15	83.62	→	1.0393	1.0114	1.1080	1.1095

今週月～木曜日までのレンジ、OPEN1.0688→HI1.0778→LW1.0628→CLOSE1.0753。  
先週末発表された豪中銀の金融政策四半期報告書でGDP+CPI見通し引き下げに、アジアではAUD売りのムードが高まり、欧州ではギリシャ第2次支援を巡り、波乱含みの相場となった。週初めは、早朝にギリシャ議会が財政緊縮法案を可決し、リスクオンの流れとなり、投機筋+ファンド勢を含め幅広いAUD買いが続いたが、15日のユーロ圏財務相会合も延期され、リスク資産が値を崩す中で、AUDUSDの売りは弱く、逆に20日の財務相会合への期待感にも動ぜず1.07を中心に大枠1.0650~1.0800のレンジで取引が続いた。

来週は、21日の豪中銀の議事録は注目されているが、他に主要な経済指標の発表もなく、ギリシャ問題が主要テーマになっている。週初めの20日に予定されているユーロ圏財務相会合で、ギリシャ第2次支援が本決まりとなるか、4月のギリシャ総選挙後になるのか、それとも別の方法で合意するのか、見極めた後に、週後半の相場展開をあらためて予測する週になりそうである。

メイン・シナリオとして、ギリシャ第2次支援の最終合意が決まり、リスク資産の買い戻しが強まり、再び1.08台を目指し、2月8日の高値1.0844を試す可能性も出てくる。リスク・シナリオは、逆に、さらに先に延長されデフォルトリスクが高くなり、ギリシャとユーロ圏主要国との対立が深まれば、1.06を割り込み、サイコロジカルなポイントとなる1.05がターゲットとなる。最近ではAUDとリスクアセットの連動性も薄らぎ、幅広い投資家の買いに、下降局面の調整幅や時間軸も限定的と思われるが、1.05の割り込むと心理的に、また、AUDロングの損切りが加速し、さらなる下落へつながる可能性も考えなければならない。

8時間チャートは、EMA1.0719で、この線を中心とした取引から上昇して、ストキャスティクスは買いを継続し、1.0628~1.0844のレンジ内に収まっている。下値のポイントは1.0711、1.0628。上値のポイントは1.0844、1.0851。

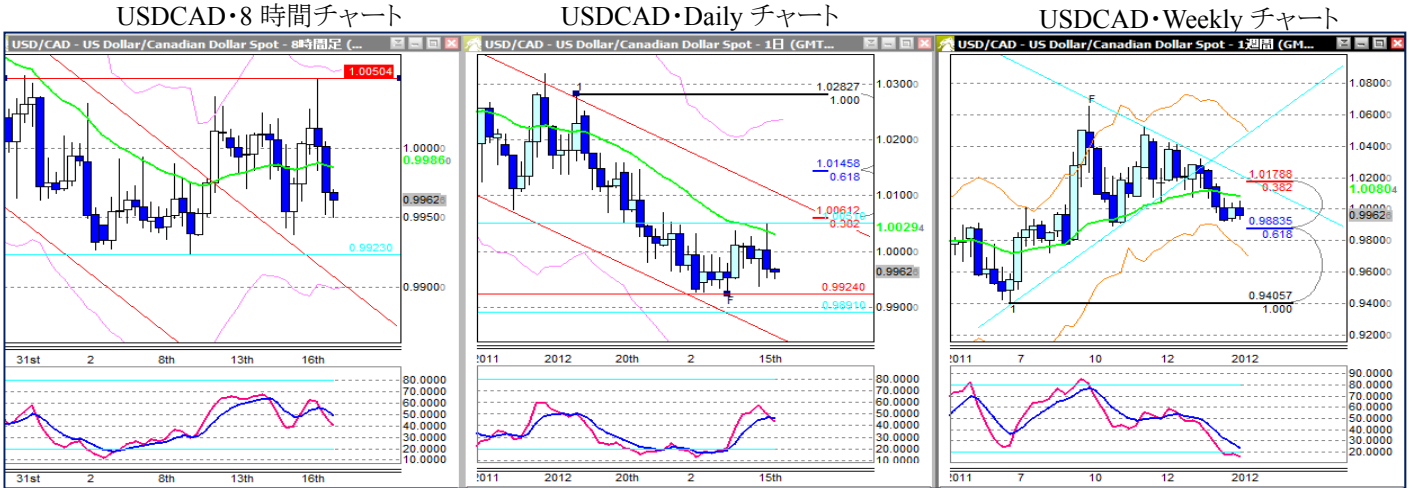
Dailyチャートは、EMA1.0610で、この水準を下限に上昇し、ストキャスティクスは買いに変化する可能性が高くなっており、1.0628~1.0844のレンジ内に収まっている。下値のポイントは1.0628、1.0610。上値のポイントは1.0844、1.1104。

Weeklyチャートは、EMA1.0388で、この水準を下限に上昇が続いている。ストキャスティクス弱いながらも、買いから売りへ変化する可能性が出ており、買われ過ぎゾーンに止まっている。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD, 2. USDCAD, 3. NZDUSD) 2月17日(金曜)午後3時現在

2. USDCAD 来週の予想レンジ 0.9920~1.0050、中期予想レンジ 0.9750~1.0150

1. ギリシャ第2次支援の影響を強く受ける
2. 大枠 0.9924~1.0060 のレンジが続き、抜け出した方向に加速する可能性が高い。
3. ファンダメンタルズから CAD の優位性は変わらず



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレータ・ ブレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
USDCAD・8時間チャート	0.9986	1.0056	0.9898	39.78	49.10	↓	0.9923	0.9898	1.0050	1.0056
USDCAD・Dailyチャート	1.0029	1.0234	0.9775	43.20	45.84	↓	0.9924	0.9891	1.0061	1.0146
USDCAD・Weeklyチャート	1.0080	1.0549	0.9760	15.29	23.37	↓	0.9884	0.9760	1.0179	1.0549

今週月～木曜日までのレンジ、OPEN1.0008 →HI1.0050→LW0.9938→CLOSE0.9966。

先週末は、ギリシャ第2次支援の合意が見られず、USDCADは1.0の大台まで買い戻されたが、米国時間にギリシャ閣議で財政緊縮策が採決され落ち着きを取り戻した。今週は、月曜早朝には、ギリシャ議会は財政緊縮法案を可決し、リスクオンの流れに、再び1.0の大台を割り込みUSDCADは下落(CADドルは上昇)したが、15日の財務相会合は延期され20日に先送りとなったことで、先行きの不透明感がつよまり、上下共に抜け出すことはできず、大枠0.9930~1.0050のレンジでこう着している。

来週は、カナダを含め主要な経済指標の発表もなく、引き続きギリシャ問題が主要テーマとなっている。週初めの20日に予定されているユーロ圏財務相会合で、ギリシャ第2次支援が本決まりとなるか、あるいはさらに延期され、タイムリミットが目先に迫り、リスク資産の売りが強まるか見極める必要がある。

メイン・シナリオは、ギリシャ第2次支援の最終合意が決まり、リスク資産の買い戻しが強まり、再び0.9920割れを試し昨年10月23日の安値0.9891を目指す動きが予想される。リスク・シナリオは、逆に、さらに先に延長され、ギリシャとユーロ圏主要国との対立が深まれば、1.0050がターゲットにされ、さらには1.0100~1.0200まで上昇する可能性が出てくる。この要因を除けば、堅調な原油価格と良好な米経済はカナダドルのプラス材料で、USDCAD売りが続きやすくなる。

8時間チャートは、EMA0.9986で、この線を中心に上下しており、ストキャスティクスは売りへ変化、大枠0.9923~1.0050のレンジに入っている。下値のポイントは0.9923、0.9898。上値のポイントは1.0050、1.0056。

Dailyチャートは、EMA1.0029で、この水準を上限に、0.9924~1.0050のレンジに入っている。ストキャスティクスは売りへ変化し、売り圧力が強まる可能性がある。下値のポイントは0.9924、0.9891。上値のポイントは1.0061、1.0146。

Weeklyチャートは、EMA1.0080で、この水準を上限に狭いレンジで取引が続いている。ストキャスティクスは売りを継続しているが、売られ過ぎゾーンに入り、方向転換するリスクと、強い売りトレンドの継続の可能性とが考えられる。下値のポイントは0.9884、0.9760、上値にポイントは1.0179、1.0549。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 17日(金曜)午後3時現在

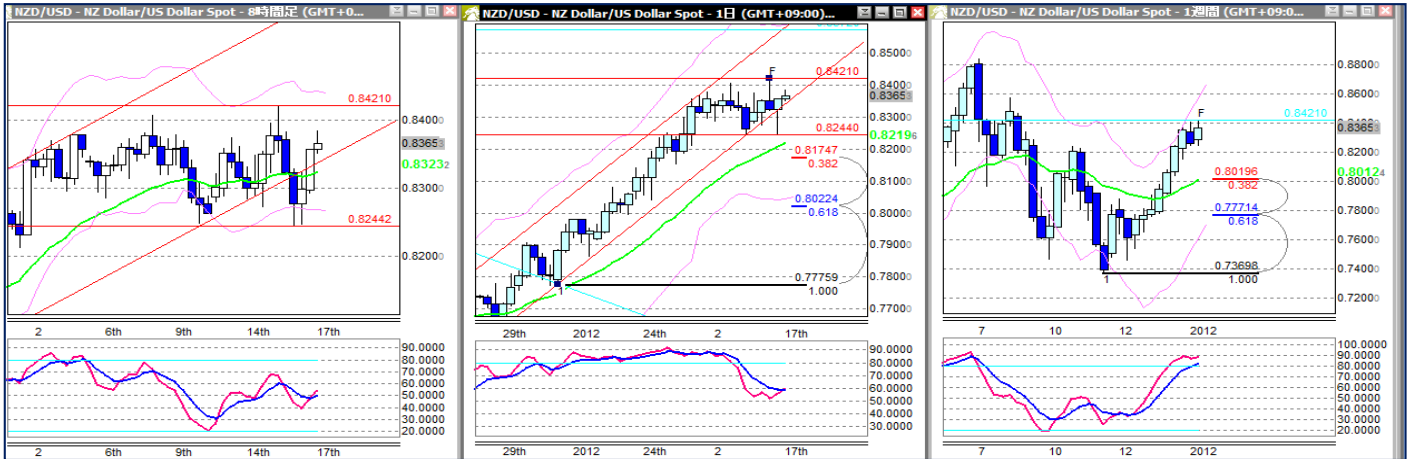
3. NZDUSD 来週の予想レンジ 0.8240~0.8420 中期予想レンジ 0.8020~0.8600

1. ギリシャ第2次支援の影響を強く受ける
2. 大枠 0.8240~0.8420 のレンジに入りやすいが、この水準を抜け出した方向に流れが加速しやすい
3. 引き続き緩やかな上昇トレンドは変わらず

NZDUSD・8時間チャート

NZDUSD・Daily チャート

NZDUSD・Weekly チャート



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレータ・ プレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
NZDUSD・8時間チャート	0.8323	0.8442	0.8269	53.67	49.90	→	0.8269	0.8244	0.8421	0.8442
NZDUSD・Dailyチャート	0.8219	0.8588	0.8045	59.42	59.01	↑	0.8244	0.8175	0.8421	0.8571
NZDUSD・Weeklyチャート	0.8012	0.8568	0.7606	89.09	82.89	→	0.8020	0.7771	0.8421	0.8568

今週月～木曜日までのレンジ、OPEN0.8287 →HI0.8421→LW0.8244→CLOSE0.8328。

先週末は、ギリシャ第2次支援策を巡り、NZDUSDは0.83の台を割り込み0.8248まで下落、米国時間にギリシャ閣議で財政緊縮策が採決され下げ止まっていた。今週は、月曜早朝に、ギリシャ議会は財政緊縮法案を可決し、リスクオンの流れに再び0.83台に逆戻りし、15日にはNZ小売売上高が前期比2.2%と強い流れを受けて、一時2月8日の高値0.8408を上回り、昨年9月5日に迫る0.8421まで上昇したが、ギリシャ第2次支援も決まらず、16日には0.8244まで下落、大枠0.8270~0.8420のレンジでこう着、終値ベースでは0.8330近くにて取引が続いている。

来週は、NZを含め主要な経済指標の発表もなく、ギリシャ問題が主要テーマとなっている。週初めの20日に予定されているユーロ圏財務相会合はギリシャ第2次支援を決める最後の会合とも言われ、その決定を見極めた後に、週後半の相場展開をあらためて予測する週になりそうである。

メイン・シナリオは、ギリシャ第2次支援の最終合意が決まり、リスク資産の買い戻しに0.8500の大台を目指し、ブレイクできればさらなる上昇が期待できる。リスク・シナリオは、逆に、さらに先に延長され、ギリシャとユーロ圏主要国との対立が深まり、デフォルト懸念に0.8200を割り込み、続落の可能性が高まることである。NZDは欧州からの逃避資金の流入が増え最近のNZDドル高に結び付いていると言われていたが、ギリシャ問題が欧州経済に深刻なダメージを与え、資金の自国回帰が起こらない限り、NZDは底堅い展開が予想される。

8時間チャートは、EMA0.8323で、この線を中心に0.8244~0.8421のレンジで推移し、ストキャスティクスは買いに変化した。確実性は低い。下値のポイントは0.8269、0.8244。上値のポイントは0.8421、0.8442。

Dailyチャートは、EMA0.8219で、この線を下限に上昇している。ストキャスティクスは買いに変化し、買いの流れが強まる可能性が出ているが、最近レンジを脱することはできず、0.8244~0.8421のレンジを抜け出した方向に流れが加速する可能性が出ている。下値のポイントは0.8244、0.8175、上値のポイントは0.8421、0.8571。

Weeklyチャートは、EMA0.8012で、この線を上抜けし上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスは買いを継続しているが売りへ変化する兆しがあり、買われ過ぎゾーンで推移している。下値のポイントは0.8020、0.7771、上値のポイントは0.8421、0.8568。

USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、  
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス。為替レート・金・原油価格は GFT 社の取引レート。  
本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com、ロイター社、ブルームバーグ社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com、ブルームバーグ社

外国為替保証金取引(FX)及びCFDには、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたしますが、損失ももたします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp)

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011